

携帯教室「安全・安心講座」

平成 24 年 12 月 12 日 (水)

馬堀中学校 体育館にて

講師：KDD I

スマートフォンについて

スマートフォンは小型のコンピュータであり、電話やメール機能はおまけであると考えて良い。

結論：スマートフォンは便利だが、その反面、従来の携帯電話と異なった危険があり、スマートフォンは中学生が持つ必要はなく、親は子供に持たせるべきではない。

どうしても持たせる場合は、そのデメリットを十分に理解し、自制心を持って、トラブルに巻き込まれない使い方をすべきである。

理由：トラブルが発生しても、子どもでは責任が取れない

子どもは自制心に乏しく、ゲームなどにはまると、莫大な時間と金を浪費する。

想像力が乏しく、安易な気持ちで掲示板やメールで情報発信をし、トラブルに巻き込まれ、簡単に加害者や被害者になってしまう。

トラブルの事例

- 高校生が、いたずら心で掲示板に「これから〇〇を放火する。」との書き込みをしたら、15分後に、警察が自宅に来て逮捕された。
- 自分のブログに自分の制服姿の写真を載せたところ、制服のバッチから学校名を特定され、名前も特定され、自宅まで来られた。
(インターネットに顔写真、名前、学校名、事細かな日常生活、住所、生年月日など載せてはいけぬ。インターネットを見ている人の中には、とんでもない人間がいる。「ブログストーカー」という人間がいて、色々調べて、居場所を突き止め自宅まで来ることがある。)
- GPS機能が付いているケータイで撮った写真を掲示板に乗せたところ、その写真のデータから居場所を突き止められた。
- コミュニティーサイトに登録したところ、預金口座から現金を引き出されてしまった。
(実名登録しなくてはならないコミュニティーサイトは、個人情報^{の宝の山}である。悪用しようと思えばいくらでもできる。アメリカでは登録する人が減ってきている。)
- インターネットのゲームで他の人とアイテムの交換をすることになり、5万円もつぎ込んだアイテムを送ったが、相手からは何も送られてこなかった。
- オンラインゲームに夢中になった学生は、睡眠時間2時間となり、アルバイト代もすべて、ゲームに使っても足りず、親が知った時は100万円もつぎ込んでいた。
(ネット^の廃人^といい、引きこもってしまい、実社会にでることができなくなる)

- コミュニティーサイトによっては登録しただけで、自分の携帯電話のデータすべてがサイト運営会社に渡ってしまう場合がある。
- 中学生のA子がB子の悪口を巨大掲示板に書き込んだところ、広まってしまい、B子の親が名誉棄損でA子の親を訴えるということがあった。巨大掲示板のため削除が不可能となってしまった。
(巨大掲示板で情報が流れてしまうと削除はできなくなる)
- アダルトサイトをクリックしたら「何万円かを支払わなければこの画像は消えません」というコメントが現れ、電源を切っても、再度電源を入れると同じ画面が出てしまう。
- 女子学生が、電車の中でだらしなく男性の寝ている姿を盗撮し、ツイッターに掲載したところ、こんな姿を盗撮する奴はとんでもないやつだと、あの手この手で女子学生が特定されてしまい、本人の写真まで入手され、インターネットで「とんでもない奴だ」とばらまかれ、内定していた企業にも、こんなとんでもない奴を採用するのかという苦情電話が殺到し、内定取り消しを受けた。
(企業は、応募者の名前をインターネットで検索し、過去に何かトラブルがあった人物は不採用にしているところもある)

最後に

トラブルの根本的な原因は、想像力の不足である。
こんなことを書いたら、どんなことが起きるだろうかということを想像する必要がある。
インターネットの世界では、この想像力が極めて重要である。
直接的な原因は、①個人情報の掲載と②不用意な情報発信である。
スマートフォンを使用する場合は、利用目的を明確にして、公開範囲も限定して、有効活動することもできるが、覚悟の上で使う必要がある。
覚悟とは、トラブルが起きたとき、自分で解決するという覚悟である。
未成年の中学生では、解決しようがないので使うべきではない。
特に実名登録をするコミュニティーサイトは利用すべきではない。